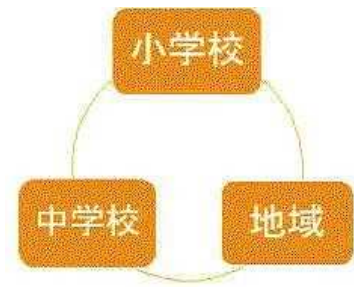


(1) とともに！チーム長町プロジェクト

1 概要

地域の中で顔と顔の見える関係作りを目標に、中学校区にある3つの小学校とその地域と連携し、平成25年3月から取り組んでいるプロジェクトである。それぞれの地域に何が必要か、そして被災地支援のために何かできないかということを生徒が考え、児童・生徒、地域の方が協力して活動している。

今年度から中学校内の有志生徒による組織「とともに！チーム長町プロジェクト実行委員会」が企画、運営を行うようになった。



2 とともに！チーム長町プロジェクト実行委員会の発足

今年度5月に実施した第19弾より、プロジェクトの企画、運営を実行委員会に移行した。募集定員は設けず、希望者全員を実行委員とした。

(1) 実行委員数

第19弾	【5月実施（1～3年生）】	93名
第20, 21弾	【8, 10月実施（1～3年生）】	36名
第22, 23弾	【11, 12月実施（1～2年生）】	58名

(2) 実行委員会の主な活動内容

- プロジェクトの立案
- 募金箱の作成
- 当日の司会進行
- 小学生に活動内容を説明
- 当日参加生徒の募集
- 横断幕の作成
- 参加者の誘導
- その他活動内容に応じた事前準備および運営など
- 活動告知ポスターの作成
- プロジェクト便りの発行
- 花壇の管理

3 平成27年度の活動内容

(1) 第19弾

① 実施日

5月27日（水）

② 参加者

鹿野小学校、鹿野地区町内会、
鹿野復興公営住宅、長町小学校、
栗山ばら園、長町中学校

③ 場所

- ア) 朝：長町中学校校門前、鹿野小学校周辺
JR長町駅前、太白区役所前広場
ザ・モール仙台長町店前
- イ) 午後：長町中学校前 R286 歩道の花壇および校庭

④ 内容

- ア) 朝：挨拶運動、ネパール地震支援募金活動
- イ) 午後：花壇整備、プランターへの植栽



※ ネパール地震支援募金活動で集まった救援金31,269円は、日本赤十字社を通じて寄付した。

(2) 特別編

① 実施日

8月4日(火)

② 参加者

長町小学校, 鹿野小学校, 長町南小学校,
芦口小学校, 長町中学校区内町内会,
長町中学校学校支援地域本部,
名取市海岸林再生の会

③ 場 所

仙台市若林区荒浜地区,
名取市関上地区, 下増田地区

④ 内 容

津波被災地見学, 海岸林植栽現場視察
意見交換会 テーマ「被災地訪問で感じたこと」



(3) 第20弾

① 実施日

8月26日(水)~28日(金)

② 参加者

長町小学校, 鹿野小学校,
長町南小学校, 芦口小学校,
長町中学校

③ 場 所

各小学校校門前

④ 内 容

朝の挨拶運動



(4) 第21弾

① 実施日

10月23日(金)

② 参加者

長町小学校, JR長町駅,
仙台南警察署, 長町地区町内会,
長町駅前商店街, 長町1丁目商店街,
サンカツール商店街, 長町中学校

③ 場 所

JR長町駅前

④ 内 容

挨拶運動
海岸林再生支援募金活動



※ 当初, 9月11日(金)に実施予定だったが, 大雨による臨時休校のため, 10月23日(金)に延期し, 朝の部のみ実施した。

※ 海岸林再生支援募金活動で集まった寄付金10,821円は, 公益財団法人オイスカに寄付した。

(5) 第22弾

① 実施日

11月11日(水)

② 参加者

長町中学校, 鹿野復興公営住宅

③ 場所

ア) 朝 : 長町中学校校門前

イ) 午後 : 長町中学校体育館
長町中学校前の花壇

④ 内容

ア) 朝 : 挨拶運動

イ) 午後 : ○ 全校集会

- ・ とともに！チーム長町プロジェクト発足からこれまでの振り返り
- ・ 鹿野復興公営住宅の方へのインタビュー（録画した映像を上映）
- ・ 復興ソング「仲間とともに」の合唱など

○ 花壇整備



※ 仙台市児童生徒による故郷復興プロジェクトの一環として実施

(6) 第23弾

① 実施日

12月15日(火)

② 参加者

長町南小学校, ザ・モール仙台長町店,
ララガーデン長町店, 仙台南警察署,
長町中学校

③ 場所

ア) 朝 : ザ・モール仙台長町店前,
ララガーデン長町店前,
長町南小学校周辺, 長町中学校校門前

イ) 午後 : ザ・モール仙台長町店, ララガーデン長町店など

④ 内容

ア) 朝 : 挨拶運動

イ) 午後 : 小中学生合同合唱, 防犯呼びかけ運動, 学区内清掃活動



4 仙台南警察署より感謝状の贈呈

平成28年1月15日(金)に今年度のとともに！チーム長町プロジェクトの活動内容が、警察署の活動に大いに貢献したことから、仙台南警察署より感謝状が贈られた。実行委員長が贈呈式に参加し、「プロジェクトの活動が地域に認められたと実感した」と話し、今後の活動の励みとなった。

